

# イルカ通信

号外

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA)

2002年 9月 21日 号外 001



## アカボウクジラに 会えるかも!?



### ブリーチングするアカボウクジラ

2002年 7月 1日 父島南東沖合にて 撮影：水口裕臣

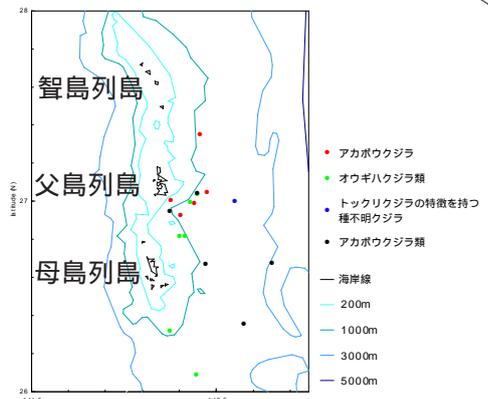
9月を迎え、マッコウクジラウォッチングの本格シーズンが始まりました。沖合ではマッコウクジラに限らずマダライルカやコビレゴンドウなどの外洋性のイルカやクジラに会うこともあるのですが、最近はアカボウクジラを目撃情報がよく寄せられます。アカボウクジラは、恥ずかしがり屋で船が近づくと潜ってしまいがちな姿を見せないクジラと言われているのですが、9月1日と18日には、船のすぐそばまで寄ってきたり、ブリーチングも見られました。世界中のホエールウォッチングでもアカボウクジラが見られることは滅多にないことなので、これは大変貴重な体験です。もしかしたら、これからのマッコウクジラウォッチングの際にも見られるかもしれないので、要注意です。 森 恭一 (OWA)

### アカボウクジラ

体長7～8mになる中型のクジラ。熱帯から極圏にわたる外洋域に広く分布する。体色は茶褐色や灰色に見える。体中にダルマザメの食痕による白くて丸い傷跡がみられる。頭部は体色が薄く白っぽい。1頭から数頭の群を作り、潜水時間は30～40分。小笠原では、このアカボウクジラや近縁のオウギハクジラの仲間が沖合域で時々目撃されている(右図)。

### ワンポイント・ウォッチングアドバイス

アカボウクジラらしきクジラを見つけたら脅かさないようにやや離れたところからスピードを落として近づく。急接近や急転回は禁物。もし潜ってしまっても、ほぼ同じところに浮上してくることがあるので、その場で40分ぐらい待っているとまた会えるかも!?



### アカボウクジラ類の目撃地点

森 (2000) を改編

小笠原ホエールウォッチング協会  
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>  
Tel04998-2-3215 e-mail [owa@h6.dbn.ne.jp](mailto:owa@h6.dbn.ne.jp)